

当院で平成 26 年 1 月 1 日から令和 7 年 12 月 31 日に当院で内視鏡検査・内視鏡治療を受けた方へ

研究実施のお知らせ

研究の題名：消化器内視鏡画像と臨床データを照らし合わせた新たな人工知能（AI）の活用法

研究期間：医学域長の許可日～2026 年 3 月 31 日

研究責任者：山梨大学医学部附属病院 東部地域医療教育センター 特任教授 山口 達也

山梨大学医学部では、上記課題名の研究を行います。「人を対象とする生命科学・医学系研究に関する倫理指針」（令和 3 年 6 月 30 日施行）に基づき、匿名化された診療情報（診療録等）の研究利用について、以下に公開いたします。

【研究の目的と意義について】 画像認識・解析は人工知能（AI）が得意とする分野であり、内視鏡診療に関連した多くの研究・開発が行われています。本邦では、既に大腸内視鏡診断における病変検出や解析を支援するソフトウェアが薬事承認されています。本研究では当院で内視鏡検査や内視鏡治療を行った患者さんの内視鏡画像と診断結果、治療結果などの臨床データを AI を用いて解析します。これにより内視鏡診断の精度向上や内視鏡治療における合併症発生予測による安全性の向上ことを目的としています。

【研究の方法について】 診療の中で行った内視鏡画像から個人情報を除き、人工知能による解析を行います。

【利用する情報について】

〈対象となる患者さん〉 当院にて胃や食道、十二指腸、小腸、大腸の病気で内視鏡検査または内視鏡治療を受けた患者さんの一部（□250名程度）を対象とします。

〈利用する情報・項目〉 情報：診療録情報(年齢、性別、診断名、既往歴、家族歴、検診歴、背景(喫煙・飲酒など))、検査データ なお、この研究に必要な臨床情報は、すべて診療録より取り出しますので、改めて患者さんに行っていただくことはありません。

【情報を利用する者の範囲について】 この研究において取得する情報の利用者は、山梨大学の研究者のみです。

【個人情報の取扱いについて】 収集したデータは、誰のデータか分からなくした（匿名化といいます）上で、統計的処理を行います。国が定めた倫理指針（「人を対象とする生命科学・医学系研究に関する倫理指針」）に則って、個人情報を厳重に保護し、研究結果の発表に際しても、個人が特定されない形で行います。

【利益相反について】 この研究は、山梨大学で管理されている研究費を用いて実施いたします。この研究の計画、実施、発表に関して可能性のある利益相反は存在しません。また、研究責任者及び分担研究者は、利益相反について本学医学研究利益相反審査委員会に申告し、適切な実施体制であることの審査を受けております。

【お問い合わせ等について】 この研究へのご協力は、患者さんご自身の自由意思に基づくものです。この研究への情報提供を希望されないことをお申し出いただいた場合、その患者さんの情報は利用しないようにいたします。ただし、お申し出いただいた時に、すでに研究結果が論文などで公表されていた場合には、完全に廃棄できないことがあります。情報の利用を希望されない場合、あるいは不明な点やご

心配なことがございましたら、ご遠慮なく下記連絡先まで、電話又は FAX にてご連絡ください。この研究への情報提供を希望されない場合でも、診療上何ら支障はなく、不利益を被ることはありません。また、患者さんや代理人の方のご希望により、この研究に参加して下さった方々の個人情報および知的財産の保護や、この研究の独創性の確保に支障がない範囲で、この研究の計画書や研究の方法に関する資料をご覧いただくことや文書でお渡しすることができます。希望される方は、以下までメール又は FAX にてご連絡ください。

〈お問い合わせ等の連絡先〉 担当者: 山梨大学医学部附属病院 特任教授 山口 達也

〒409-3898 山梨県中央市下河東 1110 山梨大学医学部内科学講座消化器内科学教室

Tel: 055-273-9584, Fax: 055-273-6748